

令和2年度 入札監視委員会（第2回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式で実施 回議実施期間：令和2年9月7日（月）～令和2年9月30日（水）	
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授）	梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学院教授） (敬称略：五十音順)
審議対象期間	令和2年4月1日～令和2年6月30日	
審議対象件数	25件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数	3件
建設工事	一般競争（政府調達協定対象）	0件
	一般競争（政府調達協定対象外）	2件
	企画競争方式	0件
	随意契約方式	0件
建設コンサルタント業務等		1件
	意見・質問	回答
	① 陸研相模原（2）宿舍解体等建築工事 （一般競争入札方式（政府調達協定対象外））  特に意見なし。	
	② 旧上瀬谷通信施設外（2）除草等工事 （一般競争入札方式（政府調達協定対象外））  低入札調査結果について、「現場を過去の工事により熟知している」と期されているが、過去の工事とはどのような工事か。	低入札調査結果について説明。 本入札者は当該施設における除草工事を平成27年度以降継続して受注している。

予定価格は積算によっているのか。除草工事は落札率が低くなることが多いが予定価格の決定に当たり過年度の入札状況等を踏まえて調整することは無いのか。

このような案件（除草工事等）において過年度の入札状況や実勢価格等を加味しない場合、予定価格が高く設定されてしまう、という弊害は無いのか。

**③ 横須賀（2）宿舎改修建築設計（一般競争入札方式（政府調達協定対象外））**

予定価格はどのように積算したのか。

入札価格にバラつきが大きい、特に予定価格を超過している入札者はどのような費用を過大に見積もっているのか。

技術点が2番手の業者が価格点で逆転しているのは、競争が活かされているので評価できる。他方で、各事業者の入札価格に相当大きな開きがある点は、どのように評価すべきか。

有効な入札をした10者のうち4者が予定価格を超過した原因は何か。

予定価格の算定は防衛本省が定める土木工事積算価格算定要領及び国土交通省が定める施工単価により積上げを行っている。過年度の入札状況実績を加味して積算価格を設定する規定とはなっていない。

近年の入札状況としては、特定の1者のみが低い価格で入札をしており、それを実勢価格とした場合には、競争性が確保されないこととなる。低入札状況については、防衛本省に状況を伝えつつ、検討していきたいと考えている。

本業務の予定価格は、国土交通省が定める官庁施設の設計業務等積算基準及び官庁施設の設計業務等積算要領により積算を行っている。

予定価格を超過している者は、各者の状況に応じ改修設計に係る技術者の人数が多く見積もられていた。

大きな開きがある者は、各者の状況に応じた技術者の人数の積み上げで積算されており、その差が価格の開きにつながったものと考えている。

予定価格を超過している4者は、各者の状況に応じた技術者の人数を積み上げ積算されており、当方の考え方との違いが超過につながったものと考えている。

	本工事に占めるアスベスト調査と はどの程度のものを想定し、予定価 格の中でどの程度の割合を占めるも のだったのか。	本業務のアスベスト調査は、外壁 材及び天井材の中から6か所を採取 し、アスベスト含有の有無及び含有 率を測定するものである。アスベ スト調査の価格は、予定価格の約3% である。
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	特に意見なし。	
2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義案件	総件数	0件
工 事	談合情報	0件
	点検結果疑義	0件
業 務	談合情報	0件
	点検結果疑義	0件
○委員からの意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する回答等	なし。	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし。	
3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について		
審議概要	順位傾向の分析、落札率・応札率の分析、調査項目別の平均落札率等の 分析等を行った資料を委員に配布・報告。	
○委員からの意見・質問	意見・質問	回 答
○それに対する回答等	なし。	
4. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当案件なし		

令和2年度 入札監視委員会（第2回）議事概要

南関東防衛局

開催日及び場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入札監視委員会定例会議を回議方式で実施 回議実施期間：令和2年9月7日（月）～令和2年9月30日（水）	
委員 (◎：委員長)	天野 康代（弁護士） 後藤 由紀子（公認会計士） ◎細田 孝一（大学教授）	梅村 靖弘（大学教授） 田才 晃（大学院教授） (敬称略：五十音順)
審議対象期間	令和元年4月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	250件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 3件	(審議概要)
一般競争	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約状及び指名停止措置状況について報告</li> <li>・抽出案件の概要説明</li> </ul>
指名競争	0件	
随意契約	0件	
意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>① 南関東防衛局（31）住宅防音事業設計図書審査補助業務（その1） （一般競争入札方式（複数応札））</p> <p>低入札価格調査実施案件であるが、低価格での入札理由はどのようなものか。</p> <p>予定価格の算出方法を教えてください。</p> <p>住宅防音事業設計図書審査補助業務は数回に分けて入札されているがいずれも落札率が低い。実勢価格に比べて予定価格が高く設定されているということはないか。</p>	<p>低入札価格調査の概要を説明。</p> <p>予定価格の積算は、直接人件費の単価は国土交通省が制定した設計業務委託等技術者単価の技師（C）、技術者の労務数量は、100世帯当たり20日で算出している。</p> <p>本件業務に必要な専門知識と経験を有しており、競争が作用したものと考えている。</p>

委託業務の履行状況について、事後的なチェック等はどのように行われているのか。低入札案件のため、問題等は生じなかったのか。

入札者の労務費（労務単価、労務数量）と、予定価格の労務費（労務単価、労務数量）を教えてください。

20世帯中1世帯を目安にサンプリング調査を実施しており、問題等は生じていない。

入札者の労務単価は技師（C）32,000円であり、労務数量は640世帯を80人工で計上されていた。また、予定価格の労務単価は国土交通省が制定した設計業務委託等技術者単価の技師（C）32,000円であり、労務数量は、100世帯で20日で算出している。

② 厚木飛行場周辺（1）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務（その2）  
（一般競争入札方式（複数応札））

防衛施設協会は、防衛局の業務を熟知している業者と承知しているが、予定価格を大幅に超過する価格で入札しているのは不自然ではないか。

（一財）防衛施設協会の入札額だけ突出して高額になっているが、なぜここまで高額になったのか理由が分かるなら教えてほしい。

予定価格算出時の参照事項の中に、防衛施設協会に関係するものがあるのか。

当該業者はノウハウの蓄積はあるものの、他局の同業務を受注していたためと考える。

なお、予定価格については、防衛本省で歩掛を設定しており、各業務の単価等は国土交通省の労務単価及び積算資料・建築物価等により適正に積算している。

当該業者はノウハウの蓄積はあるものの、他局の同業務を受注していたためと考える。

なお、予定価格については、防衛本省で歩掛を設定しており、各業務の単価等は国土交通省の労務単価及び積算資料・建築物価等により適正に積算している。

予定価格については、防衛本省で歩掛を設定しており、各業務の単価等は、国土交通省の労務単価及び積算資料・建築物価等により積算していることから、防衛施設協会に関係するものはない。

<p>参加資格を「C」から、「C」または「D」に拡大しているが、その理由は何か。</p> <p>A者は他の入札参加者に比べ突出して低価格で落札しており、かつ同様の契約案件を複数落札しているが適正に委託業務の遂行がなされているのか。</p>	<p>入札参加資格については、契約の予定金額の範囲に応じた級別の格付を定めており、役務の提供の場合、予定金額が300万円以上1,500万円未満は「C」、300万円未満は「D」としている。</p> <p>本件業務については、入札参加者を広く求めるため「C」又は「D」とした。</p> <p>指示業務の進捗状況報告を求めている、また業者から提出される成果品も厳しくチェックしているが、特段問題なく適切に実施している。</p>
<p><b>③ 厚木飛行場周辺（1）における住宅防音事業に係る事務手続補助等業務（その4） （一般競争入札方式（複数応札））</b></p> <p>防衛施設協会は、防衛局の業務を熟知している業者と承知しているが、予定価格を大幅に超過する価格で入札しているのは不自然ではないか。</p> <p>参加資格を「C」から、「C」または「D」に拡大しているが、その理由は何か。</p> <p>A者は他の入札参加者に比べ突出して低価格で落札しており、かつ同様の契約案件を複数落札しているが適正に委託業務の遂行がなされているのか。</p>	<p>当該業者はノウハウの蓄積はあるものの、他局の同業務を受注していたためと考える。</p> <p>なお、予定価格については、防衛本省で歩掛を設定しており、各業務の単価等は国土交通省の労務単価及び積算資料・建築物価等により適正に積算している。</p> <p>入札参加資格については、契約の予定金額の範囲に応じた級別の格付を定めており、役務の提供の場合、予定金額が300万円以上1,500万円未満は「C」、300万円未満は「D」としている。</p> <p>本件業務については、入札参加者を広く求めるため「C」又は「D」とした。</p> <p>指示業務の進捗状況報告を求めている、また業者から提出される成果品も厳しくチェックしているが、特段問題なく適切に実施している。</p>

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に意見なし。			
2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合情報件数	総件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし	
談合情報		0件		
点検結果疑義		0件		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回答	
	なし。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。			
3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0件	(備考)	
一般競争		0件		
指名競争		0件		
随意契約		0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回答	
	なし。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし。			

令和2年度 入札監視委員会（第2回）議事概要

防衛大学校

開催日及び場所	令和2年9月17日（木）～ 令和2年9月29日（火） オンラインによる回議形式	
委員 （◎：委員長）	天野 康代（弁護士） 梅村 靖弘（大学教授） 後藤 由紀子（公認会計士） 田才 晃（大学教授） ◎細田 孝一（大学教授） （敬称略：五十音順）	
審査対象期間	平成31年度4月1日～令和2年度3月31日	
審議対象案件	4, 688件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出案件	総件数 3件	（審議概要） ・ 契約状況及び指名停止措置 状況について報告 ・ 抽出案件の概要説明
一般競争	3件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意見・質問	回答
	<p>① 一般競争入札方式（1者応札）「防衛大学校共同利用電子計算機システムデータ移行業務」</p> <p>当該電子計算機システムを入れた業者はどこなのか。</p> <p>特定のシステムに関するものだが、そもそも競争性のある契約なのか。</p>	<p>日鉄ソリューションズ株式会社である。</p> <p>防衛省経理装備局長発出の「公共調達の適正化を図るための措置について（通知）」経理第11020（18.12.7）において、「日本企業が外国政府及び製造元である外国企業からライセンス生産を認</p>



	<p>計算方式が「市場価格方式」であるが業者から見積をとっているのか。その場合、どの業者から見積をとったのか。</p> <p>「防衛大学校共同利用電子計算機システム」を構築した業者は日鉄ソリューションズか。</p> <p>日鉄ソリューションズからの見積の妥当性についてどのように検証しているか。</p>	<p>められているもの」以外は随意契約はできないことと、「政府及び防衛省における随意契約の適正化の取り組み」を踏まえ、より一層、競争性及び透明性を確保するため基本的に一般競争入札方式を採用することとしている。</p> <p>防衛大学校ではかかる趣旨を尊重したうえで競争性及び透明性を確保する観点から安易に随意契約をせず、50万円調達案件については競争性のない随意契約によらざるを得ない場合を除き、新規業者の参入を期待して一般競争を実施することとしている。本件についても、入札参加業者にはシステム構成図や業務に必要な操作マニュアル等を貸し出す用意をしており、納入業者以外の業者が入札への参入意欲をあらわす可能性もあり、一般競争を実施したものである。</p> <p>予定価格の算定に当たり、日鉄ソリューションズ株式会社から見積を徴収した。</p> <p>日鉄ソリューションズ株式会社である。</p> <p>仕様書、公刊資料（「積算資料」（一般財団法人経済調査会発行2019.07号）SE等単価）及び前年度防衛装備庁実績（研究開発支援システムのデータ移行役務）を基に、業者見積と比較を行い、見積の妥当性を検証の上、採用／査定した。</p>
--	---	--

	<p>② 一般競争入札方式（1者応札）「防衛大学校共同利用電子計算機システムの運用支援役務」</p> <p>当該電子計算機システムを入れた業者はどこなのか。</p> <p>特定のシステムに関するものだが、そもそも競争性のある契約なのか。</p> <p>計算方式が「市場価格方式」であるが業者から見積をとっているのか。その場合、どの業者から見積をとったのか。</p> <p>日鉄ソリューションズからの見積の妥当性についてどのように検証しているか。</p>	<p>日鉄ソリューションズ株式会社である</p> <p>防衛省経理装備局長発出の「公共調達適正化を図るための措置について（通知）」経理第11020（18.12.7）において、「日本企業が外国政府及び製造元である外国企業からライセンス生産を認められているもの」以外は随意契約はできないことと、「政府及び防衛省における随意契約の適正化の取り組み」を踏まえ、より一層、競争性及び透明性を確保するため基本的に一般競争入札方式を採用することとしている。</p> <p>防衛大学校ではかかる趣旨を尊重したうえで競争性及び透明性を確保する観点から安易に随意契約をせず、50万円調達案件については競争性のない随意契約によらざるを得ない場合を除き、新規業者の参入を期待して一般競争を実施することとしている。本件についても、入札参加業者にはシステム構成図や業務に必要な操作マニュアル等を貸し出す用意をしており、納入業者以外の業者が入札への参入意欲をあらわす可能性もあり、一般競争を実施したものである。</p> <p>予定価格の算定に当たり、日鉄ソリューションズ株式会社から見積を徴収した。</p> <p>仕様書、前年度類似実績及び防衛装備庁調達管理部原価管理官発出の「令和元年度に契約する情報システムの価格計算に適用する実例技術者料金及び協議の様式について（通知）」（装管原第7563号R1.10.8）で示されている実例技術者料</p>
--	--	--

		<p>金を基に、業者見積と比較を行い、安価な業者見積を採用した。</p>
	<p>③ 一般競争入札方式（複数応札）「防衛大学校で使用するガス」</p> <p>前年度落札業者である東京瓦斯(株)から見積もりが得られなかったため、前年度契約単価に、東京瓦斯(株)HPにおける、大口供給料金の単価指標の単価差(年間供給量の変動を考慮)を乗じて得た単価と、他業者(2社)から徴取した見積単価を比較し、安価な単価を採用した。</p> <p>前年、前々年のガスの契約について予定価格、契約金額と、落札者名を教えてください。</p> <p>前年、前々年のガスの契約について予定単価、契約単価を教えてください。</p>	<p>前年度落札業者である東京瓦斯(株)から見積もりが得られなかったため、前年度契約単価に、東京瓦斯(株)HPにおける、大口供給料金の単価指標の単価差(年間供給量の変動を考慮)を乗じて得た単価と、他業者(2社)から徴取した見積単価を比較し、安価な単価を採用した。</p> <p>前年度：予定価格 76,460,787 (予定単価×予定数量) 契約金額 71,139,978 (契約単価×予定数量) 落札業者 東京瓦斯株式会社</p> <p>前々年：予定価格 71,158,586 (予定単価×予定数量) 契約金額 69,591,258 (契約単価×予定数量) 落札業者 東京瓦斯株式会社</p> <p>前年度：単位1 m<sup>3</sup>あたり 予定単価@70.270 (税抜き) 契約単価@65.380 (税抜き)</p> <p>前々年：単位1 m<sup>3</sup>あたり 予定単価@70.270 (税抜き) 契約単価@66.218 (税抜き)</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特に意見なし。</p>	

2. 入札談合案件の処理状況について				
談合情報件数	総件数	0件	(審議概要) ・該当案件なし	
談合情報		0件		
点検結果疑義		0件		
○委員からの意見 ○それに対する回答等	意見・質問		回 答	
	なし。			
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし。			
3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0件	(備考)	
一般競争		0件		
指名競争		0件		
随意契約		0件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし。			
	なし。			